

「全員駅伝」の心意気で挑戦



第663号
 発行人●豊丘村公民館 館長 原 国人
 編集人●長野県下伊那郡 豊丘村公民館報 編集委員会
 0265-35-9066
 印刷所●龍共印刷株式会社

私たちの村
 (5月1日現在 ※外国人を含む)
 男 3,368人
 女 3,473人
 総人口 6,841人
 世帯数 2,128戸

長野県市町村対抗・市町村小学校対抗駅伝大会

日頃の練習の成果を発揮

みんなの絆を
タスキに託して

豊丘村チーム監督
酒井浩文

四月二十九日、今回で二十六回目となる市町村対抗駅伝大会と、十二回目となる市町村対抗小学生駅伝大会が松本平広域公園陸上競技場を発着点に開催されました。この駅伝大会は、長野冬季オリンピック開催に向けた招致運動を契機に誕生し、長野オリンピック・パラリンピックの成功と、駅伝や長距離競争の普及・競技力向上に大きな成果を上げ「駅伝王国長野」の礎の一つとして今に続く、春の風物詩ともいえる大会です。豊丘村チームは第二回大会から連続出場、また小学生駅伝も十二回連続で参加しており、村の部で過去三回優勝という輝かしい時代もありました。今回も小中学生は各学校からの推薦による「走るこゝろが大好き」な子どもたちが集まり、また高校生・社会人は、トップアスリートから一般ランナーまで、多様な顔触れによる、ベテランと新人がバランスよく噛み合った、明るく元気なチームが編成できました。大会に向けては自主練習を中心に、世代を超えた数回の合同練習で駅伝の楽しさを共有し、チームのため・仲間のためにみんな協力しあう「全員駅伝」の心意気で挑みました。



6区酒井一さん(中学生)から7区松村佳奈さん(一般女子)へ中継

南小学校へ新しい校長先生が 着任されました

子どもたちの笑顔のために

南小学校長
島尻理恵子

「この水槽には何が入っているの」「ダンゴムシだよ。ほら」と、手の上に大事そうにのせる子ども。「ダンゴムシを探しているけど、見つからないんだよ」なるほど、中庭のコンクリートタイルが数枚、微妙にずれている。「見つかるよいいね」と声を掛ける。

池に向かって腹ばいになり、素早く手を動かして

子ども。「何をしているの」「アメンボを捕っているんだよ」「捕まえた。ほらアメンボを握った手を、少しだけ緩める。「速いね。アメンボ捕りのプロだね」と声を掛ける。南小の中庭での風景です。子どもたちは、からだ全体をつかって遊んだり学んだりしています。安心できる居場所があり、どの子どもも活躍できる場が保障されてはじめて、子どもたちは自分の力を発揮することが

先日、学校支援ボランティア全体会議が開かれ、地域の方々がいろいろな形で学校を支援してください。ことを知り、大変ありがたく思っています。職員、保護者、そして地域の方々と豊丘南小学校の子どもたちのため力を合わせていきたいと思えます。よろしくお願いたします。



(桐崎長一)

段丘

熊本地方の大震災の影響が生々しい今、少々色あせたものとなったが、今年の春の高校野球は奈良県代表の劇的な優勝で幕を閉じた。その一方でプロ野球選手として華々しく活躍したKが起した事件が、今でもマスコミを賑わしている。高校時代から甲子園を沸かせ、プロの世界でも活躍し、名球会入りしたほどの選手である。少年野球に熱中する子供達に及ぼした影響は計り知れない。

卓越した技能を有する選手に対して、高校時代はまだまだプロ入り後にはその技能ゆえにコーチでも遠慮してしまい、技術はもとより生活態度を注意する人がいなくなる。すると当人は勝手気ままに振る舞うようになり、自然に孤立してしまふ。それを見計らったかのように第三者が近づき、誘惑が発生する。

やがて選手生命を終え引退するという宿命が待っているが、既に人生の目標を失っており空虚感が襲ってくる。いわゆる燃え尽き症候群である。自業自得であるが、一方で天才ゆえの不幸とも言えなくもない。

多くの人は、現役生活を終えれば第二の人生に向かい新たな目標を設定しそれに向かつて地道な努力をしている。一般の人は尚更である。人は誰かの役に立っていると思うことで生き甲斐を持つ、身の丈に合った目標に向かい邁進したい。

コミュニティスクール キックオフ

学校支援ボランティアの活動が始まります

昨年の秋から準備が進められてきたコミュニティスクールが、いよいよ四月からスタートしました。四月二十七日の夜、学校支援ボランティアの皆さんがゆめあるてに集い全体会議（キックオフのつどい）が開かれ、コーディネーターから、制度の仕組みや事故等への備え、守秘義務、教職員との相互の理解などボランティア活動上の留意点について説明がなされ、その後、学校ごとに分かれて、校長・教頭先生を囲んで自己紹介や打ち合わせが行われました（写真）。

この制度は文部科学省が提唱し、県内では、地域に根ざしてきた長野県教育の特徴を踏まえて、「信州型コミュニティスクール」として広く普及が進んでいるものです。

これまで教育委員会や学校からの要請に応じてボランティアを引き受けてくださった方々は八十名にのぼり、今後の登録を見込むと、およそ百名に達すると予想しています。小学校では、稲作・野菜等の栽培指導、読み聞かせ、書写や絵画の

とが緊密に連携し、児童生徒の生きる力（学力、健康体力、豊かな人間性）と、地域の教育力の向上を図ることを目的としています。

指導、教室の見守り、放課後や夏休みの宿題指導、お囃子、写真、料理、ゲートボール、太鼓、手芸、押し花等のクラブ指導で活動いただきます。中学校においては、読み聞かせ、料理指



（総合コーディネーター 原 国人）

導、夏休みの宿題指導、野球、テニス、卓球、吹奏楽の部活指導、いきいき講座（全校講演会）のゲストティーチャーとして活動いただくことになっています。今後も、学校花壇の整備をはじめ学校環境の充実に向けて地域の応援が求められています。関心のある方は公民館までお問合せください。

公民館登録グループ 活動紹介 第1回

片桐白登画伯の誕生の地に水墨画の流れを残したいと思い、豊丘水墨会を三年前に発足しました。私の画歴は十五年。佳作二、守口市教育委員会賞、日本南画院同人です。白登先生は日本南画院の審査員として活躍されました。白登先生の弟子である仁科八重美先生に師事し、草花をこよなく愛

二〇一六年第五十六回日本南画院では、豊丘水墨会の四人の会員が入選し、三月十六日から二十八日まで、六本木にある国立新美術館に展示されました。その中で今回、松下よし子さんの「深閑」は佳作賞を受賞しました。水と墨と和紙の調和から、思いもよらない作品が仕上がり、皆さんに感動していただければ、感無量です。豊丘水墨会は、毎月第二と第四の火曜日の夜七時

半から九時半まで活動しています。それぞれのテーマを持ちより静かに墨をすり、心を落ち着けてから紙に向かいます。約二時間で、八号の大きさの作品が一枚仕上げられるまで上達してきました。会員は現在八名です。それぞれに得意な分野があります。「花・鳥・果実・風景」などです。春にはスケッチ旅行を計画します。牡丹で有名な遠照寺や、紫陽花で有名な深妙寺へ行きました。そのスケッチを基に作品にして豊丘村の文化祭に展示しました。多くの人に鑑賞していただくことができま

南画院展で 四人の会員が入選

豊丘水墨会 五十嵐風博子

平成28年度 公民館役職員紹介

よろしくお願ひします (5月6日現在)

- 社会教育係長 竹村 久永
- 公民館主事 唐澤 美幸
- 図書館司書 松下 佑子
- 社会教育委員 貝原 豪 寺澤 愛子 武田 篤子 筒井 伸治 大蔵 和幸 (北小学校)
- 公民館運営審議会委員 安田 裕郎 (一分館) 宇佐美和夫 (二分館) 大谷 靖幸 (三分館) 小澤 正俊 (四分館) 福島 昭治 (五分館) 唐澤 伸 (六分館) 高田 晴仁 (七分館) 大蔵 和幸 (北小学校) 吉川 竜彦 (PTA) 米山 正勝 (JA) 市瀬 憲 (区長会) 原 高之 (商工会) 林 清光 (勤労協) 貝原 豪 (社教委)
- 編集委員 壬生 雅穂 桐崎 長一 宮下 正弘 吉田 裕 正木 淳子 原 明美 小池 淳子 熊谷由紀乃
- 図書司書 原 明美
- スポーツ推進委員 酒井 浩文 酒井 泰尚 吉田みき子 田島 紀子 中原美穂子
- 分館長 代田 正 (一分館) 片桐 林三 (二分館) 上沼 隆 (三分館) 大澤 久央 (四分館) 田島 亨 (五分館) 小池 光好 (六分館) 三石 和志 (七分館)
- 分館主事 竹村 浩一 (一分館) 池野 誠 (二分館) 原 幸雄 (三分館) 原 正昭 (四分館) 小原 司 (五分館) 唐沢 伸彦 (六分館) 壬生 雅穂 (七分館)
- 社会部 平 哲聡 (一分館) 下平 英隆 (二分館) 森田 元紀 (三分館) 原 美鈴 (四分館) 三澤 学 (五分館) 北澤 功治 (六分館) 片桐 幸夫 (七分館)
- 図書部 吉川ゆかり (一分館) 船橋 正晴 (二分館) 上地 由佳 (三分館) 大澤 治子 (四分館) 武田 愛理 (五分館) 北澤ますみ (六分館) 木下 茂 (七分館)
- 体育部 小澤 孝光 (一分館) 北澤 貴幸 (二分館) 武田 徹 (三分館) 片桐 竜也 (四分館) 松下 浩之 (五分館) 三島 克喜 (六分館) 月木 正幸 (七分館)

公民館長 原 国人

した。どうぞ墨絵に興味のある方は、気軽に公民館まで連絡してください。一緒に墨絵を通して親睦を深め、

墨絵のおもしろさを共に楽しめ、自然豊かな豊丘の風景を、一枚の絵に納めてみてはいかがでしょうか。

墨絵を通して親睦を深め、

墨絵を通して親睦を深め、

墨絵を通して親睦を深め、



佳作を受賞した松下よし子さんの「深閑」

墨絵のおもしろさを共に楽しめ、自然豊かな豊丘の風景を、一枚の絵に納めてみてはいかがでしょうか。

墨絵のおもしろさを共に楽しめ、自然豊かな豊丘の風景を、一枚の絵に納めてみてはいかがでしょうか。

墨絵のおもしろさを共に楽しめ、自然豊かな豊丘の風景を、一枚の絵に納めてみてはいかがでしょうか。

墨絵のおもしろさを共に楽しめ、自然豊かな豊丘の風景を、一枚の絵に納めてみてはいかがでしょうか。

共に白髪の生えるまで

シリーズ「元氣な高齢者」②
菅沼武夫さん 九十二歳
栄さん 九十二歳
御夫妻 大柏在住



ともに大正十三年生まれ。大柏御出身。しかも本家別家の間柄。時代と言え、幼馴染みのいとこ同士の結婚であった。武夫さんは四人きょうだいの次男、兄が戦死されたので必然的に家を継ぐ。高等科二年（現中学二年）で卒業、農業の手伝いをし、農閑期には出稼ぎ人夫として平岡ダム工事や、大鹿の山深い所での土木工事など転々と働きに出かける。まだ十五、十六歳と若く、体は未熟で大人の人達との差を感じ苦労する。一方、栄さんは小学校六年で卒業と同時に、岡谷の製糸工場に働きに出る。当時は小学校六年生で卒業し就職する人が多かった。女工さんは三百人位いたと思う。全員工場の宿舎で寝食を共にする。特に苦しかったり悲しかったりした思いはないが、親元を離れ寂しかったことは覚えている。その後帰省して二十四歳で武夫さんと結婚し、果樹を主体とした農業に共に励む。戦後土地付きの家が売りに出されたのを機に購入し独立する。現在地である。武夫さんは相変わらず農閑期には各地に出稼ぎに出る

ことが多い、また山に行つて薪を作ったりと外で働いた。このような外での作業時には、部落の仲間と一緒に行動することが多かった。一方、栄さんは、三人の子供の育児を行ないながら、両親と共に農作業などし、しっかりと留守宅を守った。その後、武夫さんは若い頃共に行動した時の指導性が信頼に繋がっており、地域の皆さんに推されて村会議員となり、二期八年勤めた。当時持ち上がった村の新庁舎建築計画や、農地の構造改善計画などに関わった。こうしてお二人共に、仕事中心で特別趣味を持たず、九十二歳になる現在までお元氣である。まさに「共に白髪の生えるまで」を実践されており、本当に幸せな人生だと思ふ。常に柔和な表情の武夫さん、何事にも動ぜず物静かな栄さんが、互いに感謝する気持ちが健康長寿の源と感じました。

文責 桐崎 長一

加工組合があちゃんの店

地元食材で手作りパンに挑戦中

理事長
菅沼榮美子

「あちゃんの店」では、毎週木曜日に手作りパンを販売しております。

新たな販売品目に挑戦してみたいという思いから、平成二十五年よりパンの製造経験のある方に指導に来て頂き、パン作りの基礎から教わりながら、販売を開始しました。

食パンや菓子パンだけでなく、豊丘産の農産物を使用した惣菜パンやフルーツジャムサンドなど、できるだけ身近で親しみやすく愛されるパンを皆様にお届けしたいと常に研究しています。

「あちゃんの店」では、毎週木曜日に手作りパンを販売しております。

「あちゃんの店」では、毎週木曜日に手作りパンを販売しております。

「あちゃんの店」では、毎週木曜日に手作りパンを販売しております。

「あちゃんの店」では、毎週木曜日に手作りパンを販売しております。



図書館休館日変更のお知らせ

昨年の中学校輝丘議会において「部活の無い水曜日が休館日なのは悲しい。ほかの日に変更できないか。」とのご意見をいただきました。そこで、今年の6月から休館日を下記のとおり変更いたします。なお、5月30日(月)～6月5日(日)は蔵書点検のため、休館させていただきます。



お問い合わせ ☎35-2286

6月6日から休館日は
毎週月曜日・祝日・年末年始

佐原御手形神社春季祭典

竹灯籠で宵祭りを 幻想的に演出

上佐原 片桐秀幸



蠟燭の灯りに浮かび上がる「みてがた」の文字

薄暗い境内の奥、御手形石を祀る祭壇の左右、蠟燭の灯りに浮かび上がる竹灯籠の「みてがた」の文字、佐原御手形神社の春祭りの始まりである。神社脇を通る佐原線の両側に並ぶ九十個の竹灯籠にも灯が入り、獅子舞と囃子屋台の曳航が始まる。蠟燭の灯りは暗い道路に幻想的な雰囲気をもたらし出し山里の遅い春祭りを盛り上げている。

今年で四回目を迎える竹灯籠は五年前に佐原の地域づくりの会で、子供も少なく淋しくなっていく、春祭りを何とか盛り上げようと飯田市など他地区や他県で

行なわれていた竹宵祭りを取り入れたらと提案があり、電灯も少なく暗い神社を竹灯籠の蠟燭の灯で盛り上げてみようという決まりました。

佐原には長男会と言う会が地区の行事や支障木、竹林の整備等を行なっていますので、早速に取り組み、毎年新しい方法を試しながら一夜限りの灯り作りを行なっています。

今年の「みてがた」の文字は協力隊の女性隊員の手によるものです。

来年も宵祭りに幻想的な竹灯籠の蠟燭の揺らぎの灯りをともして行きたいと思っています。

以上二つの有り難い申し出を受け、四作品の公開展示を作品がそろい次第「ゆ

めあるて」玄関ホールで行います。是非ご覧下さい。

(資料館主任 唐澤武彦)

額です。飯田市出身で現在

京都にお住まいの三澤謙一

さんとおっしゃる元大学教授

授の方より寄贈の申し出が

ありました。作品名は不明

ですが、三澤先生のお父様

が白登に頼んで描いてもらっ

た鮎の絵とのこと。先生も

高年齢となり家を引越すこ

とになったようで、「絵は作者の故郷の豊丘に

返すのがよからう。」とお

考えになったそうです。

もう一点は片桐白登の扁

額です。飯田市出身で現在

京都にお住まいの三澤謙一

さんとおっしゃる元大学教授

授の方より寄贈の申し出が

ありました。作品名は不明

ですが、三澤先生のお父様



池野晃雲作「富士山」



『豊丘村民話集』より

動物の知恵

西島好一

ネズミが卵を運ぶ話

宇佐美竜助さんから聞いた話です。宇佐美さんが農学校に通っていたころ、家で飼っていたニワトリが、毎日、卵を産んでいたのに、急に産むのが少なくなりました。お父さんの徳太郎さんから「竜助、お前が卵を食べたてしまっているんじゃないか」と言われて憤慨し、「俺は食べないぞ」と口答えしたものの不思議でならないので、注意して鶏小屋をおりおり覗いていました。ある日、家の人たちがみな留守で静かなときに、そつ

と鶏小屋を覗いてびっくりしました。

鶏小屋の隅の穴から、大きなネズミが先頭になって、あとから何匹かのネズミが、あたりに注意しながら出てきました。そして大きなネズミの指図で、小さなネズミが四本の足と尻ばらを使って、巣箱の中の卵にしっかりと抱きつくと、大きなネズミがそのえり首を噛み、ソロソロリと引きずって、隅の穴に隠れてしまいました。

一部始終を見守ってやると犯人が判ったので、呆れるやら感心するやら。隅の穴をふさいで、それから卵を盗られなくなりました。

掘られた

北市場の福沢安太郎さんは戦時中、堀越の奥の方にサツマイモを作っていました。

人家から遠く離れているところなので、お弁当持ちで出かけては、草を取ったり蔓を摘んだり、丹精して育てていました。

ひと畝おきに農林一号という美味しい種類と、沖繩一〇〇号という、食べて不味いけれども収量の多い種類を交互に植えて、収穫の秋を楽しみに待っていました。

秋になって、ポツポツ収穫が近くなった頃にしばらくぶりで畑に出かけてみると、驚いたことに美味しい農林一号の畝だけが端から掘り返されて、イモが盗られています。そして沖繩一〇〇号の方には手がつけられていません。

掘ったのだと腹を立ててその日は家に帰りましたが、翌日イモ掘りの準備をして畑に行ってみると更に農林一号が掘られている。よく注意してみると掘り方がおかしい。そのうちにイノシシの足跡を発見して、これはたまたまと農林一号をみんな掘って持ち帰りました。そしてさらに次の日に出かけてみると、はじめて沖繩一〇〇号の畝が手で、いやいやと掘られていました。鼻と牙で掘られていました。いやいや目に遭ったのなんて、イノシシでも味が判るとは利口なものだ。と福沢さんのお話でした。

をたくさん与えて、だんだん太ってきたと楽しんでいましたが、近頃なんだか数が減ってきたようだと思議に思つて朝晩、注意していました。するとある夕方うす暗くなったころ、池の端でパシャンと音がして、鯉を喰えた獣がチラリと見えて小川の上流の方へ逃げて行きました。どうもイタチらしいと、翌朝早く小川をたどって上流の山の方へ探しながら行くと、清水の流れが滝になって落ちていくところがあつて、その滝の裏側が見えない岩の凹みに、たくさん鯉が頭と尻を段ちがいに積んで蓄えてあつたこと。

きれいな水がいつも霧になつてかき、涼しくて天然の冷蔵庫の役目を果たしているのだつたことでした。

イタチの習性かもしれないが利口なものだのお話。(豊丘村民話集・第巻)

(昭和五十二年より) 文責 壬生雅穂

とよおか 100年前

『豊丘村民話集』より

掘られた

北市場の福沢安太郎さんは戦時中、堀越の奥の方にサツマイモを作っていました。

人家から遠く離れているところなので、お弁当持ちで出かけては、草を取ったり蔓を摘んだり、丹精して育てていました。

ひと畝おきに農林一号という美味しい種類と、沖繩一〇〇号という、食べて不味いけれども収量の多い種類を交互に植えて、収穫の秋を楽しみに待っていました。

秋になって、ポツポツ収穫が近くなった頃にしばらくぶりで畑に出かけてみると、驚いたことに美味しい農林一号の畝だけが端から掘り返されて、イモが盗られています。そして沖繩一〇〇号の方には手がつけられていません。

掘ったのだと腹を立ててその日は家に帰りましたが、翌日イモ掘りの準備をして畑に行ってみると更に農林一号が掘られている。よく注意してみると掘り方がおかしい。そのうちにイノシシの足跡を発見して、これはたまたまと農林一号をみんな掘って持ち帰りました。そしてさらに次の日に出かけてみると、はじめて沖繩一〇〇号の畝が手で、いやいやと掘られていました。鼻と牙で掘られていました。いやいや目に遭ったのなんて、イノシシでも味が判るとは利口なものだ。と福沢さんのお話でした。

をたくさん与えて、だんだん太ってきたと楽しんでいましたが、近頃なんだか数が減ってきたようだと思議に思つて朝晩、注意していました。するとある夕方うす暗くなったころ、池の端でパシャンと音がして、鯉を喰えた獣がチラリと見えて小川の上流の方へ逃げ

て行きました。どうもイタチらしいと、翌朝早く小川をたどって上流の山の方へ探しながら行くと、清水の流れが滝になって落ちていくところがあつて、その滝の裏側が見えない岩の凹みに、たくさん鯉が頭と尻を段ちがいに積んで蓄えてあつたこと。

きれいな水がいつも霧になつてかき、涼しくて天然の冷蔵庫の役目を果たしているのだつたことでした。

イタチの習性かもしれないが利口なものだのお話。(豊丘村民話集・第巻)

(昭和五十二年より) 文責 壬生雅穂

とよおか 100年前

『豊丘村民話集』より

掘られた

北市場の福沢安太郎さんは戦時中、堀越の奥の方にサツマイモを作っていました。

人家から遠く離れているところなので、お弁当持ちで出かけては、草を取ったり蔓を摘んだり、丹精して育てていました。

ひと畝おきに農林一号という美味しい種類と、沖繩一〇〇号という、食べて不味いけれども収量の多い種類を交互に植えて、収穫の秋を楽しみに待っていました。

秋になって、ポツポツ収穫が近くなった頃にしばらくぶりで畑に出かけてみると、驚いたことに美味しい農林一号の畝だけが端から掘り返されて、イモが盗られています。そして沖繩一〇〇号の方には手がつけられていません。

掘ったのだと腹を立ててその日は家に帰りましたが、翌日イモ掘りの準備をして畑に行ってみると更に農林一号が掘られている。よく注意してみると掘り方がおかしい。そのうちにイノシシの足跡を発見して、これはたまたまと農林一号をみんな掘って持ち帰りました。そしてさらに次の日に出かけてみると、はじめて沖繩一〇〇号の畝が手で、いやいやと掘られていました。鼻と牙で掘られていました。いやいや目に遭ったのなんて、イノシシでも味が判るとは利口なものだ。と福沢さんのお話でした。

をたくさん与えて、だんだん太ってきたと楽しんでいましたが、近頃なんだか数が減ってきたようだと思議に思つて朝晩、注意していました。するとある夕方うす暗くなったころ、池の端でパシャンと音がして、鯉を喰えた獣がチラリと見えて小川の上流の方へ逃げ

て行きました。どうもイタチらしいと、翌朝早く小川をたどって上流の山の方へ探しながら行くと、清水の流れが滝になって落ちていくところがあつて、その滝の裏側が見えない岩の凹みに、たくさん鯉が頭と尻を段ちがいに積んで蓄えてあつたこと。

きれいな水がいつも霧になつてかき、涼しくて天然の冷蔵庫の役目を果たしているのだつたことでした。

イタチの習性かもしれないが利口なものだのお話。(豊丘村民話集・第巻)

(昭和五十二年より) 文責 壬生雅穂

とよおか 100年前

『豊丘村民話集』より

掘られた

北市場の福沢安太郎さんは戦時中、堀越の奥の方にサツマイモを作っていました。



柵で守られている堀越の農地

豊丘の自然

~シリーズ~
No.151

モズ
(モズ科)



巣立ちしたばかりのヒナ(写真)に一所懸命、餌運びつづける親鳥たち。国民の祝日の「子どもの日」の事が心に浮かんだ。

この制度は、国民がいつせいに祝う日として、戦後まもない昭和二十三年に始まった。その後、追加や改名があり、今年からは「山の日の日」(八月十一日)も加わって、十六日となった。

そんなうちの「子ども」だ。子どもを重んじ、子どもの幸福をはかるとともに母に感謝する。の。だ。と。ころが、どうだろう。子どもに関する悲しい事故、いや、事件の多いこと。

「人間は万物の霊長である」と、とんでもない。それこそ、人間以外の動物から笑われる。

（山田 拓）

私の決意

新入生代表挨拶
豊丘中学校1年
菅沼杏佳音



今日は、私たち新入生のために、このような立派な入学式を行っていただき、ありがとうございます。

今、私たちは、入学の喜びと中学校生活への不安が入り混じった複雑な気持ちです。授業についていけないだろうか、先生は厳しいのだろうか、不安に思っています。一方、新しい友達に出会えることや、部活で皆さんとともに活動できることなど、楽しみにしていることもたくさんあります。

地域メディア リポーター 養成講座 受講者募集

みんなで助け合って、何事も最後まで一生懸命やりぬいていきます。

今日はインターネットを通じて、音声や動画をリアルタイムで配信できる時代。デジタルビデオカメラやパソコンはもとより、スマートフォンさえあれば、誰もが手軽に映像を記録し、発信することができます。しかし、それを個人で楽しむだけでなく、伝統芸能やお祭りなど地域の様々なイベントを記録し、発信していただくことで、世界中の人々に豊丘村の魅力を紹介することができます。

【対象】 スマートホン、デジタルビデオカメラ、パソコンなどのメディア機器をお持ちで高校生以上の方。

【受講料】 無料
【申込み】 交流学习センターゆめあ



開会式で選手宣誓する「いくに会」代表

平成二十八年年度 夜間ソフトボール始まる

夜間ソフトボール連盟 中園 紘

【締切り】 六月十日(金)

俳句 短歌

単線の影ゆつたりと目借時
天近し白れんの花降るほどに
前号訂正「踏踏」→「踏踏」
木遣歌おんべが踊る春の空
山脈の煙たなびく春の朝
猫嫌いベツも炬燵猫様に
大名の毛槍宙とび雪解嶺
山里に山鳩鳴いて山笑ふ
信繁の義は謙信にあり花の咲く
大獅子や泣く兎逃げる兎春を呼ぶ
鈍色の空に極まる花明り
里山は眩しくなりぬ朝桜
初咲のたんぽぽを得て試歩きほふ

磯部セツ子 田中 静
片桐 洋子
下平 玲子
三島 保子
三島 里子
木下 眞水
宮下 公
宮下 純子
林 恵美子
丸山 時子
北原 昭子

春の田にスズメノテッポウ青あおと耕す前に種残しおり
九州の地の底動く次ぎ次ぎとひとごとならず伊那谷に住む
ベランダに出でて百草眺むれば母指さすは椿の花なり
簡井 恵子
大原真由美
福澤貴美恵
松尾ヒサコ
松尾 泰見
若芽ふく南天のうね這いまわり草取る妻は腰反らしおる
富永 博道
新しき友らは増えず少年のわれ知る仲間ふたり旅立つ

（八日会）
車いすゆつくり押せば児の笑顔桃と桜の満開の道を
吉澤 新子
にこやかに語れる嘘は世に満ちて老いて尚更むねにつきくる
岳 道
桜咲く青空の下父に添い純白のドレスに孫のはれの日
紅 梅
此の辺でみゆる筈だと雪の富士高速バスより目を凝らし見る
寺元 和実
杖一本であゆむりハビリーなしおえて天気予報に外は雨なり
松島 八重
久しぶりに裏道通れば春の色菜の花たんぽぽ黄が語りくる
河原 梨花



出生		死亡	
子氏名	届出人	死亡者	届出人
元島 大雅	一樹 古瀬	原 フジ	昂治 林原
三島 昇也	大和 下佐原	下澤 兼利	91 正男 中部二
菅 陽乃	太樹 篠	壬生 光人	94 紘彰 壬生浪北
片桐 叶夢	翔平 林里二	木下 文人	66 隼一 山田
川井 光裕	柿外土	滝川 重二	86 博康 北垣外
		今村 久一	97 あや子 柿外土
		吉川 宮子	83 明彦 小園
		村澤千代子	91 房治 城

〈豊丘川柳クラブ豊柳会〉

▼課題「談」 吉川 燎 選
待合室軽い冗談座がほぐれ 西元 峯子
冗談とわかっていてももしかして 小澤 凛
談笑が何よりクスリ認知症 林 桃子
雑談の中に本音が垣間見え 久保ひろし
軸吟：冗談が本気にしたいい話

▼課題「吹」 互 選
酒入り大ばら吹いて煙に巻く 吉川 燎
春来たり農魂息吹き鉄振るう 福沢 勝美
風吹いた方に軍配選挙戦 桃沢 健介
▼自由吟 桃澤健介 選
スカイツリー雲下に見え隅田川 安田 喜子
二度と来ぬ昨日に悔いが入りまじる 西元 峯子
ひなびた村続くだろうか道の駅 原 美風
戦争に行かせちゃならぬランドセル 福沢 勝美
軸吟：大揺れが続く列島苦難満つ